



地域というフィールドで学ぶ“ふくし” ～ 山形県最上町でのフィールドワーク ～

9月1日～3日まで、社会福祉学部のスカラーシップ生と3,4年生の合計28名が山形県最上町でフィールドワークを行いました。

3日間の中で、住民と交流しながら中山間地域における行政・地域福祉・地域づくり・伝統文化などを学びます。

到着後オリエンテーションを行い、高橋町長より歓迎の挨拶を、総務課まちづくり推進室より町の概要に関する説明を受け、まずは“最上町について知る”ことから始まりました。

町内の福祉施設見学では、健康福祉課より案内され、病院・健康センター・高齢者総合福祉センター・介護老人保健施設が集約された保健・医療・福祉の総合施設「ウェルネスプラザ」を訪問しました。

日本福祉大学 山形最上オフィス通信

第23号 発行日：2017年10月25日

目次

- 1) 最上町フィールドワーク
- 2) 地域同窓会活動報告
- 3) 地域同窓会活動報告
- 4) 日福トピックス

また、閉校となった小学校を拠点とし活動する方々にお話を伺いました。地区の女性たちで農家レストランを開き、地元食材を使った郷土料理を振る舞う「たらふく工房満沢」と、「食」「婚活」「半農半X」と様々な分野から地域活性化に取り組んでいる4名の地域おこし協力隊員より、それぞれの想いやきっかけ、これまでの活動実績に今後の展望などを語っていただきました。学生は真剣なまなざしでメモをとり、積極的に質問をしていました。

9月2日～3日は最上祭りの開催期間でもあったため、学生も参加しました。五穀豊穰や商売繁盛を祈願する「神輿渡御」では、学生は交代しながら本神輿を担ぎ、威勢のいい掛け声とともに町内を練り歩きました。最上町音頭保存会の皆さんに振り付けを教わり臨んだ「最上町音頭パレード」では、賑わう町中を大人数で舞い踊り、夜の祭りに華を添えました。「仮装行列」では、AKB48／ももいろクローバーの曲に合わせて、工夫を凝らした演出と元気ハツラツなダンスを披露。町民の方々からは、「活気があって、おかげで祭りが盛り上がった」「参加してくれてありがとう」「ぜひ来年も来てけるな～」と温かい声をかけていただきました。

ハードで濃密なスケジュールを終え、学生からは「座学では学ぶことができないことがあると改めて実感し、フィールドワークの重要性を再認識できた」「町の人々との交流の中で、何度も“来てくれてありがとう”とお礼の言葉をいただいてすごうれしかった」など感想が寄せられました。



地域同窓会

7/29 (土) 山形県地域同窓会

山形県地域同窓会総会・集いの会が行われました。会場となった山形市の「山形七日町ワシントンホテル」には総勢17名が集まりました。

総会では、前年度の事業報告と今年度の事業計画について協議を行い、東北ブロック代表理事・福島県地域同窓会の今野会長からは、東北地域における各県地域同窓会の活動状況と今後の予定、震災後の福島県の現況について、オフィスからは東北各県の入学生・卒業生・在学生の状況を報告しました。

総会終了時には、このたび任期満了を迎えた武田会長へ、感謝と労いの言葉を添えて花束を贈呈されました。

初の開催となる学習会では、同窓生で元 家庭裁判所調査官の新聞さんが講師となり「家裁調査官の裏話」をお話いただきました。少年審判の流れや家事事件のしくみなど家庭裁判所と調査官の仕事内容や役割を知ることができ、大変勉強になりました。取り扱う事件の種類が多さに、驚きの声も上がりました。

交流会では美味しいケーキを食べながらゲームで盛り上がり、メの記念撮影の準備にとりかかります。今年のテーマは山形名物の「玉こんにゃく」。黄色は「カラシ」・上段に見える黒い棒は「串」・黒幕で「大鍋」を表現しています。

山形県地域同窓会では、学習会の継続や県内4地区での開催も検討し、帰省する在学生在が参加しやすいように・同窓生が福祉系の研修会と重ならないようにと開催日程を7月上旬から下旬に変更するなど、参加したい/しやすい会にするための工夫がされています。また来年、お会いしましょう！



8/19 (土) 青森県地域同窓会

青森市の「ラ・プラス青い森」にて青森県地域同窓会による公開講座・総会・交流会が開催され、14名が参加しました。大学院特別任用教授の野口定久教授を講師に迎え「誰もが安心して暮らし続けることのできる地域コミュニティの実現ー地域再生ビジョンー」と題した公開講座を行いました。

青森県の健康福祉の状況と短命県返上への取り組みを取り上げ、医療・福祉・介護サービスの充実により生まれる効果や、「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現と総合相談体制の仕組みなど、地域に住み続けるために必要なことについてお話いただきました。参加された方々は熱心にメモを取りながら、野口教授の話に聞き入っている様子でした。

総会では前年度の収支決算報告や役員改選・来年度の開催について話し合わせ、その後の交流会では野口教授を囲んで様々な話で盛り上がり、親睦を深めました。

活動報告



8/26 (土) 岩手県地域同窓会

矢巾町の「やはば一く」にて、岩手県地域同窓会の定期総会が開かれ、通学課程卒業生だけでなく通信教育部の卒業生・在生も参加し11名での開催となりました。

東北ブロック代表理事の今野会長から全国代表者会議や今年度の東北各県の地域同窓会の活動状況を、オフィスからは東北地域の入学・卒業状況の報告を行いました。

前年度の事業／決算報告に今年度の事業計画と予算案について協議し、東北ブロック代表者会議の開催場所や「卒業を祝う会」の実施検討について、活発に意見が出されました。

総会後の会員交流ではそれぞれの現況報告のほか、なぜ日福を選んだのか、母校や地域同窓会の発展に必要なことは？などのお話を伺い、みなさんの日福への熱い想いが伝わってくる会となりました。

9/2 (土) 福島県地域同窓会

郡山市の「ビッグアイ郡山」にて、福島県地域同窓会の総会・講演会・交流会が開催されました。参加者は18名でした。

総会では福島県地域同窓会の歴史の紹介に、震災の復興状況や活動の報告がありました。

総会后、「子どもの貧困 私たち地域の大人にできること」というテーマで、社会福祉学部の中村強士准教授による講演会が行われました。

子どもをとりまく貧困の状況、貧困対策として現在どんなことが行われているか、そして地域の大人にできることは何か…。事例紹介とともに、子どもの居場所の必要性を訴えました。

会場を移しての夕食&交流会は、話に花が咲いていました。福島県地域同窓会は、会員の皆さんが参加しやすいよう毎年開催地を変えています。初めての方・在生も大歓迎とのことなのでぜひ参加してみてくださいね。



10/14 (土) 東北ブロック代表者会議

今年度の東北ブロック代表者会議は岩手県盛岡市での開催となりました。会場は「サンセール盛岡」で東北6県の各県代表者・大学関係者合わせて14名が参加しました。

九州北部豪雨と秋田豪雨の同窓生の被災状況や各県の活動等報告されたほか、ブロック事業として通学・通信の在生支援や東日本大震災にかかる事業について協議し、色々な意見が挙がりました。会議後は食事とともに、県を越えての会員交流を楽しみました。





日福トピックス

2018年度入学生より ココが変わります **NEW**

☞ 健康科学部 福祉工学科の2専修は、4月より
「情報工学専修」「建築バリアフリー専修」として
新たにスタートします

(「健康情報専修」「バリアフリーデザイン専修」から名称変更)

☞ 子ども発達学部 心理臨床学科 心理臨床専修 /
大学院 社会福祉学研究科 心理臨床専攻(修士課程)で
新たに誕生した心理職の国家資格「公認心理師」の
取得をサポートします! (※対応カリキュラム準備中)

「公認心理師」とは、心理学に関する専門的知識や
技術をもって支援を行う専門家の資格(国家資格)。
受験資格を得るには心理系大学で指定科目を修得&
大学院で指定科目を修得などの方法があります。

東北で受験可能! 📍 日福の一般入試【前期】

一般入試 前期日程は全国27会場受験でき、東北地域では
秋田・仙台・山形の3会場を設定しています。

受験の際はお近くの会場をぜひご利用ください。

※後期日程は美浜・東京・富山・松本・岡山の5会場となり
東北地域の受験会場はありませんのでご注意ください。

地域	日程	会場
秋田会場	2月3日(土)	秋田県JAビル
仙台会場	2月5日(月)	ショーケー本館ビル
山形会場	2月3日(土)	山形国際ホテル



通信教育部 入学説明会開催のお知らせ

12月1日より
出願受付スタート

地域	日程	会場
仙台会場	2月11日(日) 11:00~16:00	松栄不動産本社ビル6階 イベントホール松栄

通信教育を実施している大学が合同で開催する
合同入学説明会です。

大学別に個別相談形式で行われますので、
開催時間内いつでもご自由にお越しください。
入場無料/事前予約不要です。

イベントの案内・開催時の様子、取り組みや地域情報など随時最新情報を更新しています。

下のQRコードより「日本福祉大学 地域ブロックセンター」のFacebookをぜひチェックしてみてください。



日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101

山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内

電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp

Open：火曜～土曜 10:00～18:00 Close：日曜・月曜・祝日

地域ブロックセンター
Facebook QRコード



NihonFukushiUniv6C